

趣旨説明

浅見 洋

一九九九年六月に富山県黒部市の宇奈月国際会館で開催された第二十六回大会のシンポジウムテーマは「西田幾多郎・鈴木大拙——再考——グローバルとローカルの視点から——」であった。その報告が掲載された『比較思想研究』二十六号（二〇〇〇年三月発行）の冒頭に、本学会第三代学会長・故峰島旭雄先生が「名誉会長 中村元博士のご逝去を悼む——学会の来し方を顧みて——」を記しておられる。一九九九年十月十日に逝去された学会創始者（初代会長）中村元先生への追悼の辞であると同時に、世紀の転換期において比較思想学会の創立期の歩みとその後の来し方を回顧された文書である。

あれから二十年を超える年月が流れ、人文学、特に哲学・思想系の学問のおかれた社会状況、研究環境は激変し、本学会も会員数の減少、高齢化だけでなく、学問的方法と役割の再考を迫られているように思う。それに比して、西田幾多郎と鈴木大

拙への関心は国内外で増加しており、両者を比較思想の視座から再々考する現代的意義は高まっている。特に近年、日本哲学の国際的研究にはENJP（日本哲学のヨーロッパネットワーク）、IAJP（日本哲学国際学会）の活動にみられるように、グローバルないしは間文化的な広がりが生まれており、その中核は明らかに西田哲学と大拙の仏教思想である。

今世紀になって開設された西田幾多郎記念哲学館（二〇〇二年）、鈴木大拙館（二〇一〇年）は「思索のオアシス」をテーマに掲げたローカルで、ユニークな博物館であるが、両哲を中心に哲学、思想に関心をもつ国内外の人々の耳目を集め、海外からの来館者も増加している。そうした現状を踏まえ、北陸の地で再度「西田幾多郎と鈴木大拙」を比較思想の視座から考察することは、両哲と日本哲学、間文化哲学に関する思想研究の広がりと共に深まりに寄与すると同時に、将来の比較思想研究の在

り方を探る手掛かりを提供する機会になり得ると考える。

一八七〇年に、加賀の文化・自然環境の中で生まれ、育った幾多郎(寸心)と貞太郎(大拙)は近代日本哲学・思想の系譜において基軸であり続けてきた。この二哲を比較思想的に論じる場合、これまでは両思想の類似性と相互影響関係について語られることが多かった。特に彼らの生涯にわたる交流の深さ、思想形成基盤の一つが禅体験であることから、西欧では両者を「禅思想」「無の哲学」として論じることもし少なくない。ちなみに、第二十六回大会の基調講演は上田閑照氏による「外は広い、内は深い——鈴木大拙と西田幾多郎——」であった。ただし、真宗の金城湯池である北陸で生まれ育った両者には真宗、特に親鸞の影響が色濃くみられる。西田は親鸞の言辭を「宗教の本旨」と記し、大拙が「親鸞の他力思想」を「日本的靈性の情性的展開」の典例と解したことはよく知られている。そこで、今大会の基調講演は仏教学、中国仏教思想史の大家であり、真宗の教育に深く関わって来られた元大谷大学学長(名誉教授)、現鈴木大拙館館長の木村宣彰氏から、親鸞を結びの帯として両者の歩み、精神形成、人格、思想における同一性と差異性を照射していただくことにした。

近年、西田、大拙の思想形成が驚くほどグローバルな思想的ネットワークにおいて、当時の世界史な思想、政治潮流との緊張関係をもって生み出されたこと、そのため両者の生涯を超えて、現在まで国内外の哲学者、思想家に大きなインパクトを持

ち続けてきたという論調が幾つか見いだされる。そこで本シンポジウムでは、現在、比較思想、日本哲学の分野で活発な研究を展開しておられる横田理博・水野友晴・大熊玄の三人の先生方に、西田・大拙と西洋思想の比較という切り口で、最新の比較思想研究成果を発表していただくことにした。

第十九回(二〇〇六年)と第十四回(二〇〇一年)の比較思想学会研究奨励賞受賞者である横田理博(九州大学大学院教授)氏と水野友晴(日独文化研究所)氏は、大戦前の西田・大拙とショーペンハウアー思想、戦中の両者の「世界形成と平和の問題」に焦点を当てて研究成果を発表される。横田氏の奨励賞受賞対象論文は「近代西洋のエートスを相対化するウェーバーの比較思想的視座」、水野氏は「理想主義的理性信仰——T・H・グリーンの心霊的原理と西田幾多郎の純粹經驗」であり、両氏の受賞後の比較思想研究の展開に触れることができるのではないかと期待している。また、大熊玄(立教大学准教授/西田幾多郎記念哲学館副館長)氏は戦後東西思想の影響の側面を「E・フロムと大拙」をテーマに論じられる。氏は西田幾多郎記念哲学館創設時から専門員として、西田哲学研究の発信に並行して、大拙のテキストを丹念に読み解いた著述を公刊しておられる。三氏のシンポジウム発表はテーマに沿って戦前、戦中、戦後の時系列になっている。

(あさみ・ひろし、日本哲学・医療倫理、西田幾多郎

記念哲学館館長、石川県立看護大学特任教授)